稲作・種子生産・品種選定

【案件概要】

- 現地で稲種子の生産・検査・普及に携わる研究者、技術者、検査官を対象とした研修。オンライン研修と本邦研修を組み合わせて実施。
- 各国における種子生産・供給上の課題を分析し、良質な稲種子の生産・供給体制の構築に必要な知識と技術を習得する。
- 稲栽培技術、種子生産技術、品種選定技術を実践的に学び、自国での種子システム改善計画を策定することを目指す。

【研修概要】

・実施期間：2026年3月～10月

・対象となる研修員

稲種子の生産・検査に従事する研究者、技術者、検査官

（今年度11か国11名）

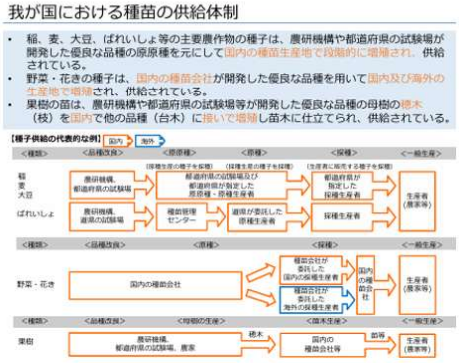
・使用言語：英語



【案件の特徴】

<u>種子の生産・検査・普及</u>に重点を置いたコース

種子生産・供給システム → 種子生産技術 → 品種選定



引用：種苗をめぐる情勢（MAFF）



